

西川孝夫 協会前会長、首都大学東京名誉教授



西川孝夫氏は平成12年(2000)に資格制度委員長、平成16年、協会副会長になられ、その後、会長に就任され、平成25年(2013)まで、永年にわたり、免震・制振構造の普及推進に尽力され、日本免震構造協会の活動と発展に貢献されました。その功績は極めて顕著であり、ここに、功労賞を贈ることになりました。

主な経歴

- 昭和52年(1977) 東京都立大学工学部建築工学科 助教授
- 昭和57年(1982) BCJ低層コンクリート委員会 委員(八千代台住宅の審査)
- 昭和61年(1986) 東京都立大学工学部教授
- 平成12年(2000) 協会資格制度委員長
- 平成15年(2003) 協会10周年記念事業委員長
- 平成16年(2004) 協会理事
- 平成18年(2006) 協会会長

主な功績

平成12年(2000)資格制度委員会委員長として、免震部建築施工管理技術者制度が進展するよう試験部会・審査部会を発足させ、その後、免震建物点検技術者制度も推進され、現在では免震部建築施工管理技術者4,200名、免震建物点検技術者1,900名が誕生しています。資格制度事業に多大に注力されました。平成15年(2003)協会10周年記念事業では、委員長を務め、記念調査部会・広報部会・記念フォーラム部会を設け、「アジアにおける免震・制振建築の役割と期待」、国際アイデアコンペ「21世紀の構造システム」等を実施されました。

会長になられてからは、平成20年(2008)協会15周年記念事業を統括され、記念事業委員会を設置、調査研究部会・市民イベント部会・国際シンポジウム部

会・コンペ部会・広報部会などが活動し、「持続的社会のための地震応答制御建築物に関する国際シンポジウム」が開催され、研究助成制度と優秀修士論文賞制度の創設に尽力されました。平成25年(2013)協会20周年記念事業を統括され、記念事業委員会を設置、広報部会・イベント部会・国際会議部会が活動し、特に、第13回世界免制振会議を復興の一助として仙台市内で会の開催を決定され、海外からの参加者との交流を推進されました。

平成23年(2011)東日本大震災が大災害が発生しました。氏はいち早く協会に「応答制御建築物調査委員会」を立ち上げ、「東北地方太平洋沖地震における応答制御建築物調査報告」を行いました。このほか、同年、原子力施設に免震構造の適用を推進すべく「原子力関係施設免震構造委員会」を発足させました。

技術委員会・普及委員会などの常設委員会などにも注力され、幅広く委員会活動を推進されました。氏は温和で、人脈も広く、上記事業の推進に熱心に取り組み、協会活動の進展に大きく貢献されました。



平成18年(2006)更新講習講義中



平成21年(2009)賀詞交歓会後事務局と